

秘密保護法案 抗議の嵐

●神奈川県内各地で宣伝

神奈川県内各地で4、5両日、秘密保護法案の廃案を求める宣伝が取り相まれました。

横浜弁護士会は5日、参院委員会強行可決後の夕方からJR横浜駅前（横浜市西区）で宣伝し、同会憲法問題協議会委員長の石黒康仁弁護士が同法案は「国民主権に反する」と批判。「強行可決は断じて許せません」と声を上げました。

日弁連のピラを受け取った神奈川県男性（34）は「僕らがよく分からないまま、賛成と反対が二分しているのに、権力の力で法案が決められてしまうのは怖い」と話しました。日本共産党神奈川県委員会は、JR東神奈川駅前（神奈川区）で、法案の強行可決に抗議する宣伝をしました。小池潔県委員長、畑野君枝副委員長らが廃案に向けてたたかいを広げる決意を表明しました。

署名に応じた金沢区の女性（68）は「秘密保護法を絶対に通した

ピラを受け取った鶴見区の男性（66）は「大反対です。秘密保護法案は戦前の治安維持法と同じです。共産党はぶれていないですね」と激励しました。

JR横木町駅前では、県の平和委員会や新日本婦人の会、横浜地区労などの約30人が宣伝。300枚のピラを30分で配り切りました。「秘密保護法案が通ったら、昔の時代に戻ってしまう」などの声が寄せられました。



宣伝する弁護士ら11日、JR横浜駅前